

美術科学習指導案

指導者	長野県総合教育センター教科教育部専門主事 常田 浩二 先生
日 時	令和7年 11月 14日 (金) 13:35~14:25
授業会場	上田市立塩田中学校 第1美術室
授業学級	2年5組 (男子18名、女子14名、計32名)
題材名	「私が見つけた物語」
授業者	北崎 知菜 教諭

I 学習指導案

1 題材名 「私が見つけた物語」

2 題材設定の理由

本校は、物を作ったり描いたりすることが好きな生徒が多く、美術に対する関心が高い。しかし、自分が知らない絵に対して関心を示す生徒は少なく、知っている絵に対しても有名だから良い作品だと捉えている印象が見受けられる。

そこで、より興味・関心をもって絵を鑑賞してほしいという願いをもち、ブラインドトークと称して、Chromebookを用いて言葉だけで絵の詳細を伝え、相手に絵を描いてもらうという活動を行ってきた。この活動で、絵の全体の印象を捉えたり細部まで拡大して絵を見たりして絵を伝え合う中で出てくる言葉が、造形要素の一つになると考える。この題材を扱った昨年1年時では、その造形要素を「絵を見るポイント」として整理し、これらを通して、生徒は絵の細部に着目し、そこから感じ取ったりイメージしたりすることで、自分なりに絵を見るポイントを根拠にしながら作品が物語っていることを読み解く活動を行うことができた。

2年時では、1年時で学習した「絵を見るポイント」を根拠にすることを踏まえ、「絵を見るポイント」(本時では、描かれた人物やその表情・しぐさ・立ち位置・周囲の環境など)と「光」を関連付け、2つの作品を比較鑑賞する。本題材で扱う「夜警」(レンブラント)は、同じ作品でも明るい画像と暗い画像があり、比較鑑賞を行う中で「光の効果」に気づきやすい作品だと考えた。現在見ることができる作品は暗いものだが、描かれた当時は明るい作品であり、「夜警」という題名も後世に暗くなってから名づけられたものである。

「光」は、中学校美術で生徒が制作する中で、どの題材でも密接な関係にある造形の要素であり、鑑賞の授業で「光の効果」について扱うことで、表現領域の制作にも生かされるのではないかという期待ももてる。さらに、光に着目してその他の造形の要素と関連付けていけば、多様な自分なりの物語を自由に考えても良いという点から、敷居が高いと感じる美術作品へのハードルも低くなり、自分なりの考えを語りやすくなると考えた。以上の理由から、本題材を設定した。

3 題材の評価規準 内容(B鑑賞(1)ア(ア))

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 形や色彩・構図・光などの性質やそれらがもたらす感情を関連させて、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	鑑 諸外国の著名な美術作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫について考え、光の効果によって何が変化するかを感じ取ったりイメージしたりして、作品が物語っていることを自分なりに考え、見方や感じ方を深めている。	態 作品鑑賞することの楽しさを味わい主体的に美術作品の見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 本時案

(1) 主眼

「絵を見るポイント」を根拠に鑑賞してきた生徒たちが、明るさを変更した「夜警」ともとの「夜警」の題名をそれぞれ考える場面で、ブラインドトークで気付いた光の効果に着目して形や色彩、画面構成などに関連付けて考えることを通して、光と陰影が絵画にどのような効果を与えるのか(=「光の効果」)に気づき、「光の効果」を根拠に2つの絵を比較して自分なりに作品を読み深め題名や場面を考えることができる。

(2) 本時の位置(全1時間中第1時)

昨年度:「絵を見るポイント」(昨年度では、表情、服装、持ち物、動き、人物の年齢や数、印象など)を見出し、作品が物語っていることを「絵を見るポイント」を根拠にして自分なりに読み解いた。

鑑賞作品:「散歩・日傘をさす女」(クロード・モネ)

「夜のカフェテラス」(ゴッホ)

「近所に新しく来た子どもたち」(ノーマン・ロックウェル)

本時:本時の展開を参照

鑑賞作品:「夜警」(レンブラント・ファン・レイン)

(3) 指導上の留意点

○ブラインドトークのきまり(絵を伝える側と絵を描く側に分かれる、絵を描く側は絵を見ない、絵は言葉・身振り手振りなどで伝える、絵の上手さは問わない、交代して行う、絵を伝える側が使用する Chromebook は1つ)を確認しておく。

(4) 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	・支援および評価 ◇評価	時
導入	1 ブラインドトークを行い、本時の学習活動を確認する。	・中世ヨーロッパの雰囲気、中心に男の人が2人いる。人数は、20人くらい。ほとんど男の人だけれど、天使みたいな女の子が真ん中にいるよ。戦いに行くのかな。 ・あれ、2枚目の絵も、1枚目と同じ絵なんじゃないかな。 ・何が違うんだろう。 ・何かがなかったりあったりするのかな。 ・2枚を比べると、明るさが全然違うな。 ・明るい方は温かい感じで、暗い方は冷たい感じがするな。 ・明るい方は、明るいから楽しい印象がするけれど、暗い方は困っていそうな印象になるから、「印象」が光で変化しそうだな。	・ブラインドトークを用いて2枚の絵を比較できるようにする。 ・本時のブラインドトークは短時間で行い、絵で描くことは強制しない。 ・2枚が同じ絵だと気づいた時点で、「同じ絵だけれど違う点がある」ということを伝え、違いを考えるように促す。 ・2枚を同時に比較できるような画像を提示する。 ・2枚の画像の印象を比べて、どんな感じがするか問う。 ・明るさの違いによって変化することがあることを抑え、課題を伝える。	10
	光の効果をもとに比較して2つの作品を読み解き、それぞれに自分たちで題名をつけよう。			
展開	2 一人で作品の場面と題名を考える。	・題名は、明るい方が「パーティー」で、暗い方が「迷子」にしようかな。理由は、明るい楽しそうな印象で、暗いと困っていそうだったから。 ・自分は、光で時間帯が変わると思ったので、	・光によって変化することを「光の効果」として抑え、「光の効果」によって何が変化するか考え、それがわかるように場面を考え、題名をつけるよ	5

開 ま と	3 班になり、2つの 絵の題名と場面を 「光の効果」を根拠 に考える。	「朝のパレード」と「夜のパレード」にしたよ。 ・自分は、武器を持っているからどちらも戦いの 場面だと思う。明るい方は、明るいから表情も明 るく見えて、戦いにも勝っていそう。暗い方は、暗 いと表情も暗く見えて、戦いに負けていそう。だか ら、題名は「勝利」「敗戦」にしたよ。 ・自分も、戦いの場面だと思ったけれど、どちらも 戦いに行く場面。明るい方は、気持ちが高まって いて戦いに意気込んでいる感じ。だから、「出陣 ～俺が勝つ～」。暗い方は、行きたくない戦争に 行かなきゃいけないけれど、嫌そう。だから、「出 陣～でも行きたくない～」にしたよ。	うに促す。 ・「光」によって変わることがわかりに くい生徒には、まず、「印象」が明るい 絵と暗い絵でどう変わるかを問いか ける。 ・読み取った「光の効果」を使って比 較していれば、一人ひとり物語は違っ ていて良いことを伝える。 ・自分が見つけた「光の効果」で比較 し、見つけた物語と題名を発表するよ うに促す。	10
	4 全体で、「光の効 果」で比較した題名 と場面を共有し、発 表し合う。	・明るい方の題名は、「今日はお城でパーティ ー」で、暗い方は「洞窟で迷子、どうしよう」。「光 の効果」で、「場所」と「気持ち」が変化すると思 ったので、明るい絵は「すてきなお城・楽しい」か ら連想してパーティー、暗い方の絵は「暗くて怖 い洞窟・困っている」から迷子だと考えました。 ・明るい絵の題名は「良かった、勝った」で、暗い 絵の題名は「負けちゃった、どうしよう」にした。武 器を持っているからどちらも戦いに行く場面。明 るい方は、明るいから表情が明るくて、「安心した 感じ」から戦いに勝った場面だと思う。暗い方 は、暗いから表情も暗くて、「どんよりしていそう」 だから、戦いに負けて途方に暮れている場面だ と思った。だから、「光」には、「気持ち・勝敗・表 情・雰囲気」を変える効果があると思う。	・班で出た物語について、「光の効 果」を視点にして議論を交わし、一人 ひとりの見方が違うという面白さにも 目が向くように促す。 ・班として、一つの物語を発表しても 良いし、複数の物語を発表しても良い ことを伝える。 ・「光」によって作品の見え方がどう変 化するのか「光の効果」が分かるよう に整理して板書する。 ・なぜそう考えたのかについて、必要 に応じて問い返しをする。 ・発表する時には、1人が発表しても、 複数で発表しても良いことにする。 ・他の班の発表を聞く際には、自分の Chromebook またはテレビで絵を見 ながら聞くように促す。	15
	5 「光の効果」をま とめ、題名と場面を 一人で考える。	・同じ絵でも、明るさが違うだけで、「印象・雰 囲気・場所・時間帯・気持ち・表情・主人公」まで変 わってしまうんだな。 ・暗い方は見たことあるけれど、作者が描いた時 には明るい絵だったことを聞いて驚いた。作者 は、肖像画を描いたみたいだけれど、自分は、戦 いに行く場面に見える。 ・発表を聞いていろいろ見方があっておもしろか った。友達の発表を聞いて、自分は、「負けて反 省会」と「勝ったから祝賀パーティー」という題名 を思いついた。理由は、光の明暗によって勝ち負 けが異なるだけじゃなくて、暗い方は反省会、明 るい方はパーティーみたいに行っていることも変 わって見えたから。	・「光」によって作品の見え方がどう変 化するのか「光の効果」が分かるよう に整理して板書する。 ・なぜそう考えたのかについて、必要 に応じて問い返しをする。 ・発表する時には、1人が発表しても、 複数で発表しても良いことにする。 ・他の班の発表を聞く際には、自分の Chromebook またはテレビで絵を見 ながら聞くように促す。 ・「光」を根拠に比較できていれば、 様々な考えがあって良いことや、友達 の意見を聞いて自分の見方が変わっ て良いことも伝える。 ・視覚的にわかるように、問い返しや 補足をしながら、「光の効果」を比較 して板書する。 ・必要であれば明暗の違う「夜警」の 説明をするが、「光の効果」を比較し て考えることができていれば、自由に 物語を考えて良いことも伝える。 ◇「光の効果」について理解し、「光 の効果」を根拠に2つの絵を比較し 題名・場面を考えることができたか。	5
	6 本時に学んだこ	・光は、明暗の変化だけではなく、色の温かさの		5

め	とや今後に生かしたいことを振り返りに記入する。	変化や方向性など、明るさ以外の性質もあるということがわかった。 ・光によってこんなに変わるということを知ったから、今後の制作では「光の効果」を活用して、自分の制作意図に近づけるようにしていきたい。 ・画像編集をする時にも、「光の効果」を効果的に活用していきたい。 ・これから描く絵では、光を入れて明るくすることで、希望を感じる絵にしたいな。	B鑑賞(1)ア(ア) ・明るい絵と暗い絵で別の「光の効果」で考えている生徒には、比較できるように問いかけを行い、場面や題名を考える前につまずかないように配慮する。 ・「光の効果」をまとめ、これからの制作に活かしていったほしいことを伝える。	
---	-------------------------	---	---	--

(5) 見ていただきたい観点

- ①「光の効果」に意識を向かせるためにブラインドトークを行ったことは、有効であったか。
- ②光の効果を根拠に比較して2つの作品を読み解き、それぞれに自分たちで題名をつけることができていたか。